



情報提供機能に特化したサービス (仮称：iNACCS) に係る追加提案

2012年11月21日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

第4回合同WGにおいて提案したiNACCSについて、以下のサービスを追加する。

1. NACCSコード検索等機能
2. 港湾統計作成用データの提供

1. NACCSコード検索等機能の追加

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	NACCSコード検索等機能の追加	
2. 現行仕様	現在NACCSのオンライン業務で入力する各種コード（NACCSコード）については、NACCS掲示板において提供している。	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	NACCSコードの検索やより柔軟性のあるダウンロード方法の提供が望まれている。	
4. 次期仕様	iNACCSにおいて、NACCSコード検索等機能を提供する。	
5. その他		

1. NACCSコード検索等機能の追加

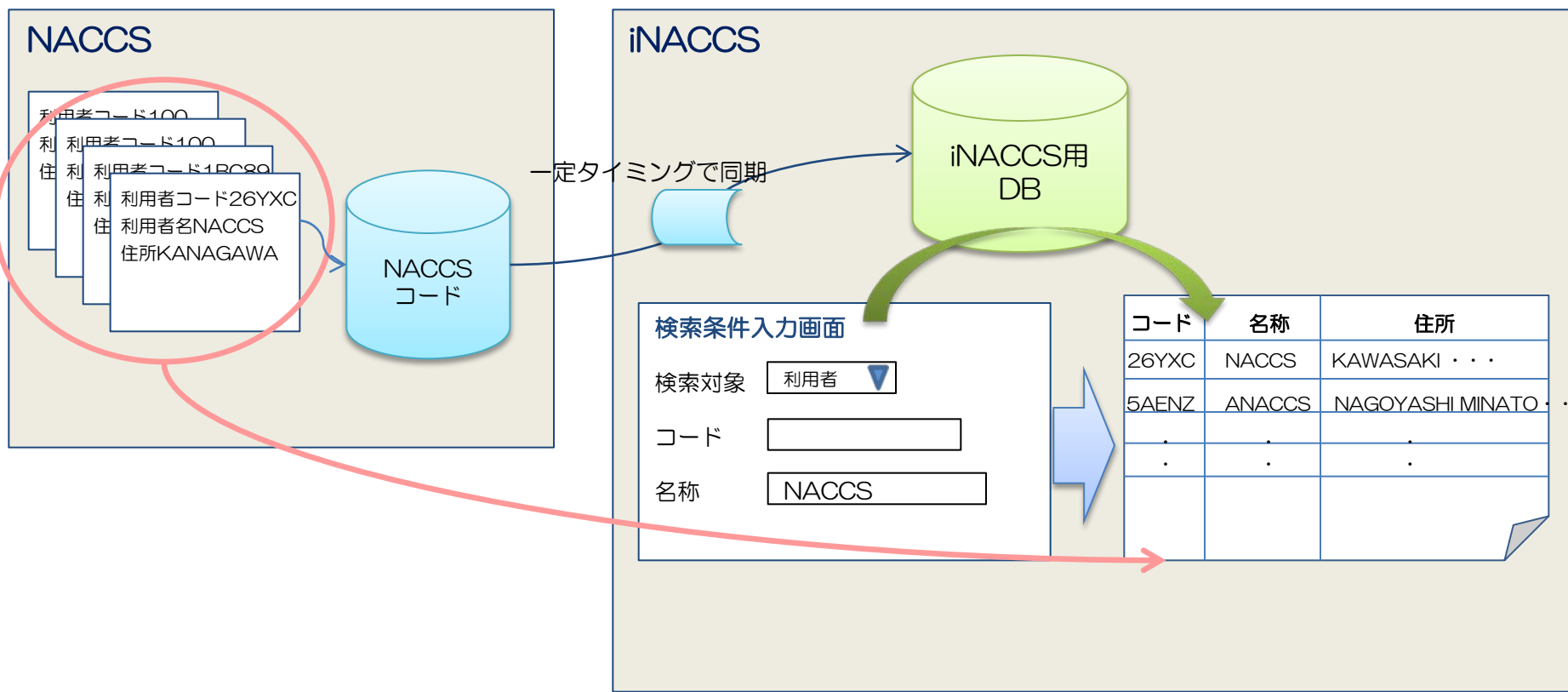
NACCSコード検索サービス

NACCSに設定されているコードについて、コードや名称で検索を可能とする。
※検索対象のNACCSコードや参照可能範囲については別途検討する。

想定される使用ケース（例）

- 情報の通知先として指定すべき利用者コードが分からない。
- 保税地域コード、LOCODEとして何を入力すべきか不明。

NACCSコード検索イメージ



2. 港湾統計作成用データの提供方法の変更について

NACCSが配信している「港湾統計作成用データ」の提供方法について、第6次NACCSからはiNACCSのサービスとして港湾管理者への直接配信に変更し、併せてデータの精度向上等の可能性について検討を行う。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	港湾統計作成用データの提供方法等の変更	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none">船社・船舶代理店がNACCSへ登録したデータを基に、港湾統計作成用データとして管理資料情報（「K04 輸入貨物データ」「K05 輸出貨物データ」「K06 仮陸揚貨物データ」）を作成している。上記管理資料は、関係者の同意を得たうえで、「みなと総合研究財団（WAVE）経由で港湾管理者（7港湾）へ提供を行っている。	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	<ol style="list-style-type: none">WAVE経由による提供を廃止することにより、NACCSと個別に接続する外部システムの対象が減少することとなり、運用・管理に要する経費の負担軽減、また、システム的にもリスク低減に繋がることとなる。管理資料情報（港湾統計作成用データ）について、港湾管理者から収集条件等の一部見直しについて要望がある。	
4. 次期仕様	<ol style="list-style-type: none">港湾統計用データの提供方法について、iNACCSのサービスの一環として、NACCSから港湾管理者に対し直接提供する方法を採用する。管理資料情報（港湾統計作成用データ）の収集条件等について検討を行い、データの精度向上の可能性について検討を行う。	
5. その他	現行対象港以外の港湾（133港湾）における利用についても検討する。	